

島田掛川信用金庫とDX推進に関する協定を締結

☎商工課 36・7146

が期待されます。

6月19日、島田市と掛川市と島田掛川信用金庫の3者は、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に関する連携協定を締結しました。協定では、同信用金庫職員が中小企業庁の「デジタル診断ツール」を活用し、地域企業のデジタル化に関する課題解決を支援。また、両市の高校や大学と連携し、デジタル人材の地域企業への就職を支援する事業も開始されます。官民が連携し、DXを推進することで、地域の課題解決



DX 推進に関する協定を締結した関係者

㈱エスパルスと地域の発展やスポーツ文化の振興で連携

☎スポーツ振興課 36・7219

機に、市と一層の協力体制を図ってきたい」とあいさつしました。

市は6月28日、㈱エスパルス（サッカー・清水エスパルス）と持続的な地域の発展に向けて連携する「ファミリータウン協定」を締結しました。県中部自治体で初めての協定では、持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みやスポーツを通じたコミュニティ形成、地域社会の活性化、次世代の担い手を育む教育などで協力していくことを取り決めました。同社の山室晋也代表取締役社長は「これまでスポーツ教室などで地域と関わりがあった。今回の協定を



染谷市長と協定書を取り交わす山室社長(右)

原油価格・物価高騰の影響を受ける企業への支援を要望

☎商工課 36・7146

島田商工会議所は6月28日、原油価格・物価高騰で影響を受ける中小・小規模企業への支援に関する要望書を、染谷市長に提出しました。

同会議所は、燃料価格の高騰により、厳しい状況が続く運輸業などへの支援を要望。大久保節夫会頭は「消費の低迷や、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー不足などにより、市内の事業者は引き続き厳しい状況にある。支援策など対応をお願いしたい」と求めました。



市長に要望内容を説明する会議所役員

売上金の一部を寄付、大井川の環境保全に活用

☎環境課 36・7145

5月30日、カネキチ(株)の伊藤慎之助代表取締役と㈱大村屋酒造場の松永孝廣代表取締役社長が市を訪れ、日本酒「悠久の大井川」の売上金のうち10万4100円を寄付しました。

染谷市長は「いただいた浄財はしっかりと水質保全に使わせていただく」と話し、お礼状を手渡しました。同2社は毎年、売り上げ1本当たり100円を市に寄付。今年で14回目となります。寄付金は、大井川の環境保全のため、水質調査などの費用に充てられます。



染谷市長からお礼状を受け取る伊藤代表取締役(右)